

2015年7月 定期報告と次月度以降の活動予定

活動日誌

7月	1日	栃木県農政審議会
	2日	栃木県教育委員会教育長懇談
	5日	宇都宮市中央卸市場運営協議会
	7日	栃木県次期プラン策定懇談会
	8日	小山市総合計画策定懇話会
	9日	栃木県・小山市総合防災訓練第2回全体会議、小山市H28年度における総合事業に関する説明会
	13日	くらし部会
	14日	常務理事会、災害対策交流会
	15日	食品表示法に係る説明会
	16日	栃木県くらし安全安心課・部長訪問/食の安全ネットワーク学習会・全体会
	17日	とちぎ消費者カレッジ宇都宮短期大学
	18・19日	水郷水都全国会議
	21日	ふれあいお茶会、消費者ネットワーク幹事会、中央地連運営委員会
	22日	栃木県・県央地区災害対応訓練第1回全体会議
	23・24日	消費者教育セミナー
	28日	とちぎ食の安全・安心推進会議
30日	マイナンバー制度学習会、栃木放送番組審議会	
31日	栃木県労済生協総会	
8月	1日	いわき四倉ボランティアお茶会
	3日	MCA無線訓練
	4日	栃木県次期プラン策定懇談会
	7日	栃木県くらし安全安心課との懇談会
	11日	理事会
	20日	食の安全ネットワーク世話人会
	27日	栃木県とちぎ食育推進連絡会
	29日	ふれあいお茶会
30日	栃木県防災訓練	
9月	1日	とちぎ消費者カレッジ自治医科大学
	7日	くらし部会
	8日	常務理事会
	10・11日	6県連合同業態研修会群馬県
	15日	消費者ネットワーク幹事会
	17日	食の安全ネットワーク全体会
27日	もったいないフェア	

【7月の振り返り】

◇行政関係

- 1日 栃木県農政審議会（竹内会長出席）
- 5日 宇都宮市中央卸市場運営協議会（関事務局長出席）
- 7日 栃木県次期プラン策定懇談会（竹内会長出席）
- 8日 小山市総合計画懇話会（竹内会長出席）
- 9日 小山市H28年度における総合事業に関する説明会（江波戸理事出席）
- 9日 栃木県・小山市総合防災訓練第2回全体会議（大島担当出席）
- 15日 食品表示法に係る説明会（中田専務・江波戸理事出席）
- 16日 栃木県くらし安全安心課・部長訪問
- 22日 栃木県・県央地区災害対応訓練第1回全体会議（大島担当出席）
- 23・24日 消費者教育セミナー（江波戸理事・大島担当出席）
- 28日 とちぎ食の安全・安心推進会議（竹内会長出席）

◇各団体との協働

- 18・19日 水郷水都全国会議（竹内会長出席）

◇ネットワーク活動

- 2日 消費者ネットワーク 県教育委員長との懇談
- 16日 食の安全ネットワーク学習会 「続・わかりやすいHACCP講座」 講師：宇都宮大名誉教授 宇田靖氏
- 17日 とちぎ消費者カレッジ 宇都宮短期大学開催
- 21日 消費者ネットワーク幹事会・学習会「消費者クイズ～キミが社会に出る前に～を白鷗大学で実施して」 講師：栃木県在住消費生活アドバイザー一連絡協議会会長 高岡得郎氏

◇県連活動

- 30日 マイナンバー制度学習会 講師：日本生協連法規会計支援部長 宮部 好広氏

◇被災地支援

- 21日 ふれあいお茶会

以上

1. 機関運営

- 6月14日、2015年度第1回常務理事会を開催しました。
- 6月26日第46回通常総会が開催されました。

ご来賓に、栃木県くらし安全安心課課長 板橋様・栃木県農業協同組合中央会専務理事 猪瀬様・栃木県労働者福祉協議会会長 加藤様・日本生協連総合運営本部本部長兼会員支援部長 大本様にご列席をいただきご挨拶をいただきました。代議員は、実出席27名、書面出席7名の34名全員が出席し、すべての議案について全会一致で可決されました。議案の提案に加えて議案を深める意味合いで、出席されている会員、賛助会員の報告がされました。新しく理事になられた方は、栃木県学校生活協同組合伊藤理事長、とちぎコープ塚原執行役員同じく川村理事、栃木県生活協同組合連合会江波戸の4名です。

議案	第1号議案「2014年度事業報告・決算報告・剰余金処分案承認の件」及び監査報告
	第2号議案「2015年度事業計画及び予算承認の件」
	第3号議案「役員補充選任の件」
	第4号議案「役員（理事、監事）報酬枠承認の件」
	第5号議案「議案決議効力発生」の件」

2. 『組合員理事・組織活動担当職員学習会』の開催

6月25日第10回学習会が開催され、昨年9月からシリーズで開催されてきた学習会が終了しました。最終回は、「学習会で何を学んだか」「生活協同組合は社会(地域)から何を期待されていると考えますか」「理事、組織担当者職員として、自分のすべきことは何か」をテーマに全員でワークショップを行い、考えをまとめました。さらに参加者の中から5名がパネラーとなり、このテーマについて深めました。

	日	テーマ	講師	参加
1	9/22	「協同組合思想とその歴史」	栃木県生活協同組合連合会 竹内会長理事	36人
2	10/27	「今なぜJA改革なのか」	宇都宮大学 農学部 農業経済学科 秋山満教授	35人
3	12/01	「共有を深めるワークショップを学ぶ」	宇都宮大学 教育学部 陣内雄次教授	39人
4	12/15	「昨今の消費者問題と消費者市民社会の意義」	横浜国立大学 教育人間科学部 西村隆男教授	64人
5	1/20	「山谷の現状からみえてきた事 地域住民による生活困窮者の支援」	NPO 法人自立センターふるさとの会 滝脇憲常務理事	40人
6	2/23	「くらしから考える生協の活動」	教育アドバイザー毛利敬典氏	35人
7	3/16	「栃木県という地域が抱える様々な問題について」	NPO 法人宇都宮まちづくり市民工房理事 安藤正知氏	29人
8	4/27	「いごこちの良い場のあり方・つくり方」	至誠キートンホーム施設長 大村洋永氏	34人
9	5/25	「日本経済（アベノミクス）と日々の暮らしの関係」	高崎経済大学経済学部 矢野修一教授	33人
10	6/25	「私たちが考える生協の役割について」	参加者全員ワークショップ	31人

3. くらし部会

- 6月1日に第1回部会を開催しました。議題は、「戦後70年を考える取組み」を大きなテーマにした「沖縄問題から見る日本の平和」について学習する機会を設けることについて話し合いをしました。また、「うつのみや食育フェア」と「食と農をつなげる会」の検討を行い、この間の行政関係や友誼団体との協働活動について振り返りをし、参加会員からの活動報告と交流を行いました。
- 7月13日に第2回部会を開催しました。平和の活動について、学習会を3回程度開催することとし、内容を検討中です。下期には沖縄戦跡を訪れる活動を予定しています。
- 10月4日開催の「食育フェア」での取り組みについて3地域生協より報告があり、協議を行いました。また、今年度もECOテックへ参加することとし、今後出展内容について協議をすすめます。
- 単協報告では、総代会の終了報告がありました。また、食育の取り組みとして、昨年度よつ葉生協では「とちぎっこ出前講座」として県からの委託を受け、保育園など30か所で食育講座に取り組み、今年度も取り組むとの報告がありました。
- 日生協報告として、各地で上がっている安保法制反対の声について、集会へ多くの生協人が参加していることや、有志が連名で声明を出すことを検討している旨の報告がありました。

4. 栃木県適格消費者団体研究会の開催と参加

栃木県における適格消費者団体の設立に向けた研究会「栃木適格消費者団体研究会」が5月に発足し、第2回研究会が6月22日に開催され、司法書士会に対して、研究会への参加呼びかけをした報告、設立準備の意見交換、他県の団体等の事例などを話し合い、交流しました。9月3日に、宮城県仙台市にある「適格消費者団体東北設立準備会」を視察する予定です。

5. 栃木県・県中央地区災害対応訓練

7月14日、会員生協が集まり、災害対策交流会を行いました。今後、災害時にどのような事が問題となるのか、何を明確にしておけば良いのか、など、報告と交流、質疑応答を行い、今後も会を重ねながら、情報の共有や課題の洗い出しなどをすすめることを確認しました。

災害対策交流会参加団体
栃木県県民生活部くらし安全安心課/日生協/栃木県学校生協/栃木県職員生協/宇都宮市職員生協/栃木県労働者共済生協（全労済）/栃木保健医療生協同/とちぎコープ/よつ葉生協/生活クラブ生協/生活協同組合/パルシステム群馬/社会福祉法人/ふれあいコープ/栃木県生協連

7月22日、栃木県・県中央地区災害対応訓練第1回全体会議がありました。

6. 7月30日、10月から導入されるマイナンバー制度について、会員生協に向けて、日本生協連法規会計支援部長 宮部 好広氏を講師に学習会を開催。参加者は約25名となり、導入にあたっての留意点や、作業の簡略化についてなどの詳しいお話と、質疑応答がありました。

ネットワーク活動

1. とちぎ食の安全ネットワーク

6月11日定例の世話人会が開催されました。議題は、5月21日の全体会で実施した学習会「食物アレルギーの基礎知識と緊急時の対応について」の振り返りと、11月12日及び12月3日に開催予定の「食品安全セミナー」の準備・検討を行い、7月16日全体会での学習会「HACCP パートⅡ」（講師：宇都宮大学 宇田靖名誉教授）の確認、9月17日全体会での学習会「機能性食品表示」（講師：日本生協連安全政策推進室 鬼武 一夫氏）の確認をしました。また、7月15日に栃木県が開催する食品表示法に係る説明会「食品表示法制定の経緯と食品表示基準の概要について」（講師：消費者庁食品表示企画課）の案内がされました。

（食品安全セミナー） ※栃木県との協働

日時	場所	テーマ	講師	参加
10月22日 13:30-16:00	県庁研修館講堂	<第14回とちぎ食品安全フォーラム> (仮題)「知ろう、防ごう、食中毒」 ～意外と知らない食中毒～	食品安全委員会事務局	
11月12日	県庁東館4階講堂	<食品安全セミナー(仮称)> (仮題)「輸入食品と食品の安全性について」	内閣府	
12月3日 10:00-12:00	小山市文化センター小ホール	<食品安全セミナー(仮称)> (仮題)「食品添加物と食品の安全性について」	内閣府	

（全体会での学習会）

	日時	テーマ	講師	参加
①	5月21日	「食物アレルギーの基礎知識と緊急時の対応について」	獨協医科大学小児科 吉原重美准教授	
②	7月16日	(仮題)「HACCP パートⅡ」※昨年12月の「はじめてのHACCP講座」に続く2回のHACCPについての学習	宇都宮大学 宇田靖名誉教授	
③	9月17日	(仮題)「機能性表示食品について」	日本生協連安全政策推進室 鬼武一夫氏	
④	12月17日	「食の安全についてパネルディスカッション」	パネラーはネットワークの委員から	
⑤	3月17日	未定	未定	

- 宇都宮大名誉教授 宇田靖氏に講師をお願いし、「続・わかりやすいHACCP講座」を開催しました。会員報告として、「フタバ食品」『とちぎコープ』からHACCPの取り組みについての報告と、県より「うつのみやHACCP」を統合して「とちぎHACCP」に一本化することなどの報告がありました。

2. とちぎ消費者ネットワーク

- 6月2日定例の幹事会が開催されました。今回より、栃木県商工会議所連合会常務理事と宇都宮大学国際学部の准教授が加わりました。幹事会では、栃木県県民生活部くらし安全安心課消費者推進室との意見交換を本年実施した「栃木県消費生活に関する県民意識調査」報告等を交え、消費者被害の現状と対策について交流しました。また、幹事会での学習計画やとちぎ消費者カレッジの進行状況の報告、フェスタ my 宇都宮などの協働活動の報告がされました。

(とちぎ消費者カレッジ)

日時	開催	講師	テーマ	対象	人数
5/13 13:00-	国際医療福祉 大学大講堂	NPO 法人とちぎ消費生活サポ ートネット理事 山田英郎氏	あなた！狙われているかも？ ～20歳になる前に知っときたいこと～	1年生	482人
5/13 14:40-	〃	〃	〃	1年生	459人
7/17 14:45-	宇都宮短期大 学1号館301	栃木県在住消費生活アドバイ ザー会長理事 高岡得郎氏	未定	1.2年 生	
11/5 14:40-	作新学院大学 3405教室	NPO 法人とちぎ消費生活サポ ートネット理事 山田英郎氏	未定	2年生	
11/5 16:20-	〃	〃	未定	2年生	

3. 7月2日 県教育委員長との懇談

- 栃木県教育委員会を訪問し、教育長 古澤 利通 様に要望書をお渡ししました。

要望	(1) 小・中・高校での消費者教育について (2) 地域の中での、小・中・高校との連携について
----	---

- 7月17日、宇都宮短期大学にてとちぎ消費者カレッジを開催。
消費者クイズ”～キミが社会に出る前に～講師 栃木県在住消費生活アドバイザー連絡協議会 会長 高岡得郎氏/消費生活専門相談員 (栃木県消費生活センター) 伊藤 延子氏 参加者40名(スタッフ含む)
10問の三択クイズ『めざせ！かしこい消費者クイズ 2015』を実施。内容は「偽ブランドサイトでのトラブルが急増している」「アダルトサイトの「ワンクリック請求」⇒契約が成立していないので料金を払う必要は無い」「むやみに個人の写真を掲載しない⇒リベンジポルノの危険性、「リボ払いにした場合の金利計算と返済総額」などについての解説があり、「クイズ形式でおもしろかった」「身近な問題が多く分かりやすかった」などのアンケートをいただきました。
- 7月21日 消費者ネットワーク幹事会・学習会「消費者クイズ～キミが社会に出る前に～を白鷗大学で実施して」を開催。講師は栃木県在住消費生活アドバイザー連絡協議会会長 高岡得郎氏にお願いしました。

震災支援活動

- 東日本大震災、福島第一原発事故避難者支援「お茶会」の取組み

第38回「いわき市四倉仮設住宅お茶会」まとめ

開催日時：2015年6月27日(土) 午前10時:30～13時:30

開催場所：いわき市四倉仮設住宅 交流室

参加者：9名 スタッフ：10名

スタッフ感想から

- ① ここに来るといつも、参加者の方が季節の花を活けて私たちを迎えてくださる。気遣いを感じる。
- ② 仮設の期限も決められているが、参加者は月一回のお茶会を、とても楽しみにしてくださっている。継続しなければと思う。
- ③ 仮設に1人でいてもしょうがない、畑にでも出て動いていないと体調が悪くなると、自宅で畑仕事をしている参加者がおっしゃったのが印象的だった。(採れたジャガイモなどをくださるが、毎回放射性物質の検査をしている)
- ④ 押し花はスタッフが手作りしたので「ここまで時間をかけて準備してくれて、本当にありがとう」「最近体調が悪かったのに、こんな力が残っているとは思わなかった。今までで一番楽しいかも」と、楽しそうに押し花を選んでいる参加者を見て、よかったと思った
- ⑤ 参加者が、自分で工夫して作ったエコクラフトの靴とランドセルなどを、わざわざ見せに来てくれた。マッチ箱を見てインスピレーションが湧きランドセルを作ったとのこと。また、自宅にある珍しい八重咲マーガレットを飾ってくれた参加者は「次の時に苗を取ってきてやっから」と言ってくれた。皆さんと打ち解けた関係になれたことがとても嬉しいし、この場を大切にしたいと思う。

「第44回ふれあいお茶会」まとめ

開催日時：2015年6月16日(火) 午前10時～12時

開催場所：特別養護老人ホームみどり 地域交流室

参加者 : 浪江町 6 名 スタッフ : 10 名

スタッフ感想から

- ・参加者は少なかったが、いつも通り和気あいあいとした楽しい時間を過ごした。
- ・今月 20 日に埼玉へ引っ越しをする方、お茶会当初から毎回のように参加して下さり、思い出すとさびしい気持ちになる。
- ・ランチョンマットを 1 枚、2 枚と夢中になって作っていた。みんなで一緒につくること、ひとつの物を完成させることが喜びとなるようだ。作品についての話も広がった。
- ・私は四倉のお茶会にスタッフとして参加している。参加する避難者の方は、手芸やスタッフとのおしゃべりが楽しくて集まっているようだ。
- ・当日はスタッフ不足のためふれあいコープの職員さんに応援を頼んだ。事前の準備、当日の進行も良く無事終了することができた。

「第 45 回ふれあいお茶会」まとめ

開催日時 : 2015 年 7 月 21 日 (火) 午前 10 時~12 時

開催場所 : 特別養護老人ホームみどり 地域交流室

参加者 : 浪江町 3 名、須賀川市 2 名、福島市 1 名、相馬市 1 名、双葉町 1 名 避難者 8 名

スタッフ : 14 名

スタッフ感想から

- ・ランチョンマット作り、押し花が好評でみんなで楽しく制作した。何枚も作る方もいて最後に形に残るものができたと喜んでいただいた。ここで仲間と出会えたこと、知り合えたことは良かったとおっしゃっていた。
- ・参加は少な目だった。当初からお茶会に来て下さりスタッフで気にかけていた方、久しぶりに足を運んでくださった。体調に波があり気分がすぐれないこともあるがお友だちが欲しいとのこと。笑顔をみせてくれたことにスタッフ一同感謝している。
- ・来月のお茶会で最後となる。高齢の方同士で、明日からさみしくなるわ、今度で最後なんだねとしみじみとコーヒーを飲まれていた。
- ・今まで参加者一人ひとりの話を聞いて、そこには人生ドラマがあり、それを聞いて受け止めることを続けてきた。人は話をする機会が必要だと思う
- ・次回のお茶会で最後となる。約 4 年間のお茶会を無事に終えることができ役目は十分果たしたと思う。
- ・次回でお茶会が最後になるとお知らせした。皆さん納得していたのでほっとした。

手芸募金 800 円

○最後のお茶会 (納涼祭) のご案内を世話人さんのメッセージを載せて葉書にてお知らせする。

次回打ち合わせ 8 月 4 日 (火) 午前 10 時から みどりの樹

- みやぎ生協から発信される「3.11 を忘れない 被災地のいま」をホームページで連続掲載支援しています。6 月第 2 回「声なき在宅被災者の苦しみ」をアップしました。

